

ということにもつながると思っています。色が無い世界は無いと申しましたが、色だけで存在している世界もありません。そこには必ず「カタチ」や「ソライ」や人々の「キモチ」が介在する。そういった意味でも、色を通してコミュニケーションセンスを養うことが出来ればいいなと感じています。そうして色彩ビジネスを通して様々な世界の方たちの橋渡しをすることが出来れば……そして目に見える「物」や「空間」だけではなく、目に見えない人々の「心」といったものまで素敵な色で彩っていくことができたら……こんなに嬉しいことはありません。

DIC カラーデザインスクール パーソナルカラーセン
スアップ講師ほか
主な作品：色のヒーリングDVD「色彩浴～春夏秋冬の
風韻～」ナレーション原稿執筆

●「好きを仕事にするまで」

目黒裕子さん (28歳)

私がカラーの勉強を始めたのは3年前になります。当時私は経理事務の仕事をしておりましたが、趣味でイラストレーターやフォトショップを使用し、デザインの勉強をしていました。その頃の私は漠然とデザインに関わる仕事がしたいと考えておりました。そんな時にwebデザイナーをしている友人が、デザインをする上でカラーの知識が重要だと話してくれました。そこで私はカラーの勉強を始めたのです。その頃の私の



目標は2年以内に色彩検定1級を取得することでした。カラーの勉強は楽しく、予定通り2年後には色彩検定1級に合格することができました。

次の目標はカラーを活かした仕事に就くことでした。しかし、色彩検定の1級を持っているからといって直接結びつく仕事は見つからず悩みました。その時に目に止まったのが、スクールの無料セミナー「好きを仕事にするには」でした。このセミナーでの話は刺激的で、このスクールでなら仕事に結びつけるかもしれないと感じ、カラーデザインコースの申し込みをしました。しかし、カラーデザインを4ヶ月間学んだだけでは美大・芸大出身の人には敵わないと考え、デザインの次に興味があるインテリアカラープランニングコース(6ヶ月間)も受講しました。

私の新しい目標は1年以内にインテリアの会社に就職することになりました。そうと決まれば、インテリア業界で働く為最低限必要な知識を吸収しなければなりません。目標は1年以内です。短い期間にどれだけ多くの知識を吸収できるかが課題です。スクールで1部屋分の間取り図を描くという課題が出れば、「基本・間取り図・パースの描き方」というような本を購入し、1軒分の間取り図とパースを描きました。アクリル絵の具でデザイン画を描く、という課題が出れば、テーマ別に数枚のデザイン画を描きました。建築関連・デザイン関連の展示会がある時は先生と一緒に見に行き、先生の視点でのもの見方を学びました。また、インテリア会社の面接に行くときの為にポートフォリオを作成し、先生に批評していただいたり、とにかく寝る間も惜しんでがむしゃらになっていました。

そんなある日、建築家であるスクールの先生に、ポートフォ